

一般質問

高橋 伸明 議員 (自・未)



防災について

京浜運河から西方面には多数の津波避難施設があるが、東方面には見られない。海抜の低い地域に一時避難ができる設備の建設など、津波対策を推し進めてはどうか。

想定される海抜2.61メートルの最大津波高に対しては高潮防堤により対応が可能であり、区内のほとんどの水辺で整備が完了している。旗の台四丁目、中延五丁目は木密地域で、不燃化特区支援制度の対象町会だが、老朽住宅の解体を行ったお宅はどのくらいあるのか。

また、全ての区立学校、幼稚園の耐震工事が終了したが、火災に対する対応はどうか。

たした耐火建築物となっている。マンホールふたの劣化、整備不良によって、大雪やゲリラ豪雨などの際、様々な事故が起きている。耐用年数を超えたマンホールふたはどのくらいあるのか。また、交換等の対応はどうか。

区内には下水道のマンホールが約1万3千個あり、都が維持管理している。磨耗等の状況に応じて都に交換したと聞いている。

災害発生時においては、しながら中央公園を拡張した防災拠点のヘリポートを有効に使い、協力していただく自衛隊等との連絡調整が一番重要である。ヘリポート横の中小企業センターで、区と自衛隊の連携の重要性を説明する展示を行ってはいかがか。

防災フェアをヘリポートのある多目的広場で開催し、活動紹介のほか、車両展示や炊き出しを行い、自衛隊との連携の重要性を広く区民に周知している。

松永よしひろ 議員 (民・無)



福祉施策について

認知症の症状がある方が認知症の方を介護する認知介護は、急速な高齢化の中で今後ますます増えることが予想される。しかし、プライバシーの壁などが原因となり、認知介護の現状把握は十分なものとなっていない。区の状況把握はどのように行われているのか。

ケアマネジャーが訪問する際に、本人だけでなく家族の状況も聞き取ったうえでアセスメントを行い、認知介護のおそれがある場合には適切な支援を行っている。

社会から孤立化してしまった中高年のひきこもりの方々に、再び社会参画してもらうことは、本人のためにも、社会、区のためにも大変重要なことである。区の施策は、ひきこもりがちな高齢者に対して、

高齢者外出習慣化事業を通じて外出の機会を増やし、地域における仲間づくりを推進している。

昨年末の厚生労働省の発表によると、障害者施設での職員等による虐待は調査開始以来、過去最多となっている。本区の現状は、

平成25年から29年の5年間で虐待認定をした件数は17件である。障害者福祉課が障害者虐待防止センターとして通報の対応等をするともに、虐待防止研修等の実施をしている。また、緊急一時保護を必要とする障害者のために居室の確保をしていく。

DVや児童虐待による死傷者の報道は絶えることがなく、ますます深刻の度合いを増している。区のこれまでの取り組みは、

DVでは、パンフレットに区や関係機関の相談先を記載して周知を図っている。虐待については、24時間つながる「しながわ見守りホットライン」を設置し、通報・相談をしやすい環境を整備してきた。

一般質問

浅野ひろゆき 議員 (公・明)



品川区におけるドローンの活用について

ドローンは、将来的に災害時の情報収集、避難誘導等の有効な手段になると期待されている。これまでのドローンに関する情報収集の結果や調査状況は、

災害時における情報収集については上空からの精密な画像の伝送技術が確立し、避難誘導についても昨年、新宿区で音声による実証実験が行われた。今後も技術の実用性や開発動向を注視していく。

区内の水辺等の空撮動画をケーブルテレビ品川等で放送するなど、ドローンを活用した区の魅力発信の取り組みを実施しては、

な撮影手法等を検討していく。

胃がん検診について

区が本年6月から開始する胃がん内視鏡検査は、胃の内部の病変を発見しやすくピロリ菌感染も判別可能といわれている。内視鏡検査による胃がんリスク軽減策について見解を。

胃がん内視鏡検診でピロリ菌感染等が疑われる所見があれば、医師の判断において除菌治療等が行われていくものと認識している。

ピロリ菌を若いうちに除菌すれば、胃がん発症の可能性が低くなることにつながる。また、ピロリ菌感染の9割が家族からの感染と言われている。成人式や乳幼児の健康診査等で、ピロリ菌の危険性や感染経路等の周知啓発を行っている。

成人式の配布チラシにピロリ菌と胃がんに関する説明文を加え、乳幼児健診では乳幼児期の口移し等を避けるよう啓発を行っている。

子どもたちを守る安全・安心な体制整備について

事件の情報が学校の保護者だけでなく見守り隊等の地域の方にも届くよう情報共有の強化を図っては、

重要事件発生時はホームページ等も活用して情報を発信している。

重要事件発生時はホームページ等も活用して情報を発信している。

高橋しんじ 議員 (無所属)



教育について

策定中の品川区立学校教育要領は、今後の品川区の教育の在り方に重要なものだが、区民や議会に対し、中間報告を行わなかった。理由は、

必須とは考えていないが、様々な立場の方から意見を聴取している。今年度実施の2～9年生対象の学力定着度調査は、区立学校全体としての実施結果の総括や分析等の区民や議会へ報告がない。その理由と報告を求め、

目的は、自校の課題と解決策を明確にし、経年で把握し、指導に活かすことで、対外的な公表を主眼としない。

五反田への通学が可能と考える。特別支援教育に関し、伊丹市が実施している①教員向け指導資料作成、②区立幼稚園、保育園、学校内へ指導主事等が出張しての研修実施、③区立幼稚園の拠点校での通級指導の実施を提案する。

品川区議会が私立品川女子学院の1生と実施した意見交換会を区立小中学校でも実施を。

今後の研究課題である。スポーツ振興について

八潮に新設のスケートボード場(BMX(バイシクルモトクロス)の利用をという区民の声がある。関係団体から安全面等の意見を聞き、

予算編成過程公開について。RPA(ロボットによる業務自動化)の導入による区の業務効率化について。

区議会事務局の調査業務能力アップのために職員増員について。